

グラフィティガード UR518

落書き防止剤

概要

「グラフィティガード UR518」は、幅広い下地に適用できる落書き防止剤です。塗布後は専用の「グラフィティリムーバー」にて落書きを簡単に除去できます。下地の色を損なわず使用でき、仕上がりも艶あり（G）、艶なし（M）を選択できます。

用途

コンクリート、タイル、石材、木材、金属等、幅広い下地に適用できます。

例) 地下道、駐車場、公衆便所等

特長

- 幅広い下地に施工可能
- 優れた耐候性、耐摩耗性
長期に渡り変色しにくい品質の為、きれいな状態を維持することが可能です。
- 経済性
- 容易な施工
ローラー、ハケにて容易に施工可能。
- 容易な落書き除去
溶剤系の洗浄液で簡単に落書きを除去できます。

仕様

■標準使用量

	グラフィティガード UR518
塗布回数	2回
使用量	0.15 kg/m ² (1回当たり)
3 kg/当り (荷姿)	10 m ²

※希釈しないで使用して下さい。

※標準使用量は条件により変化することもあります。

荷姿及び保管

3kg/セット (基剤：2kg、硬化剤：1kg)

未開封、冷暗所、乾燥した場所に保管して6ヶ月。



■性状

基剤

外観	無色液体
比重	1.06~1.08
粘度 cps	1000~2000

硬化剤

外観	無色液体
比重	1.06~1.08
粘度 cps	2000~5000

混合物

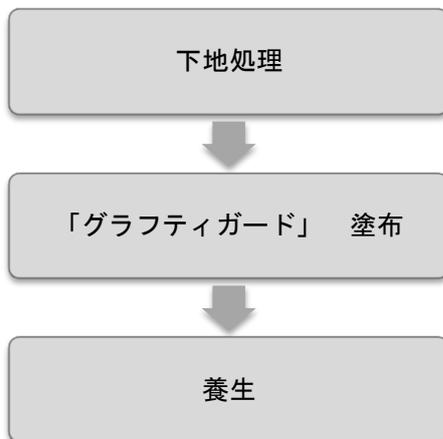
固形分	52±2%
ポットライフ 20℃	2時間
指触乾燥 20℃	4時間

安全衛生上の注意事項

- ・ 「グラフィティガード」は可燃性溶剤を含有しています。作業中は換気に注意し、裸火を近づけ泣いて下さい。
- ・ 目や皮膚に付着しないようにゴーグル、ゴム手袋等を着用して下さい。
- ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合には直ちに清浄な水、石鹼等で洗浄して下さい。
- ・ 必要な場合は、専門医の診察を受けて下さい。

施工手順

■施工フロー



■施工手順

- ① 下地処理
 - ・ 汚れ、ほこり等をウエス、ワイヤーブラシ、サンダー等で除去して下さい。
 - ・ 油脂類はシンナー等で除去して下さい。
 - ・ 高圧水での洗浄を推奨します。
 - ・ 必要に応じ、脆弱部の除去、欠損部の断面修復、段差、不陸等の修正を行って下さい。
 - ・ 下地調整材は「ナイトコート CR500」を推奨します。
- ② 「グラフティガード UR518」塗布
 - ・ ローラー、刷毛にて必用回数塗布して下さい。
- ③ 養生
 - ・ 降雨、強風時等、必要に応じてシート養生を行って下さい。

■注意点

- ・ 「グラフティガード UR518」は溶剤系ポリウレタン樹脂を使用していますので、硬化は湿度に影響されます。完全硬化するまでは、乾燥した状態で養生して下さい。
- ・ グラフティリムーバーで落書きを除去する時、塗膜の膜厚や下地状況で除去の程度は変わります。また、落書きされた材料によっても度合いが変わりますのでご注意ください。
- ・ 「グラフティガード UR518」は、さまざまな下地に塗布できますが、鏡面処理されている下地に対しては事前に付着性を確認して下さい。

CREDESCENCE

クリディエンス株式会社

フォスロック日本総代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3-3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crdc.co.jp> E-mail: crdc@crdc.co.jp



製造元:

Fosroc Global Trading Limited

改定日: 2009年11月1日

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は